沈下修正
沈下修正工事

各種沈下修正工事

豊富な実績により
現場に応じた最適な工法を提案

建物移動工事（曳家）や建物レベル修正工事で多くの実績を持つ我妻組では、現地の諸条件やユーザーの希望を考慮した上で最適な沈下修正工法を提案している。
工事の内容は第三者機関（株式会社地盤審査補償事業）による確認・審査が行われるほか、万が一不同沈下が再発した場合には最大5,000万円まで補償される沈下修正保険「GS10」（保険責任期間10年）も用意され、ユーザーへ安心を提供する。

建物の傾きを修正するジャッキアップの様子

■沈下修正工事の例（基礎が沈んでいる住宅の不同沈下修正工事）

施工前

タイルが沈み込んでいる

タイルを剥がすと空洞あり

ベタ基礎に段差あり

ベタ基礎に亀裂あり

沈下修正工事

基礎掘り起こし

基礎掘り起こし

同調ポンプ接続

ジャッキアップ

沈下修正完了

持ち上げ完了

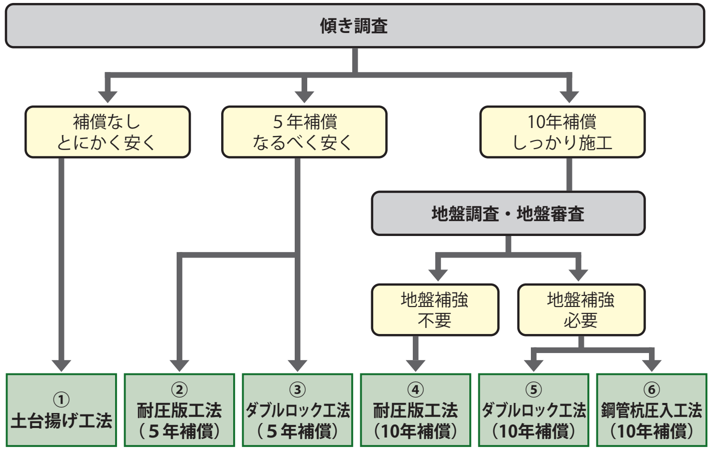
ミルクセメント流し込み

埋め戻し完了

配管が元の位置に戻り
沈下の深さが分かる

問い合わせ先
株式会社我妻組　TEL0238-23-4297　https://wagatsumagumi.jp/

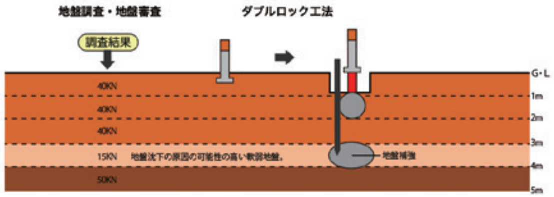
工法選定のフローチャート（木造2階建て・40坪程度の住宅の場合）



【各工法の特徴】
土台揚げ工法
沈下量が少なく地盤強化不要の場合に適する。
耐圧版工法
地盤強化不要の場合に適する。
ダブルロック工法
恒久性を重要視したい場合に適する。
鋼管杭圧入工法
5t程度で強い地盤（岩盤等）に杭先が届く場合に適する。

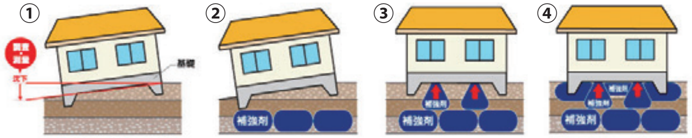
「ダブルロック工法」について

我妻組では、地盤沈下の原因となる深い位置からコンクリート土間空洞充填を行い、床が正しく水平になる「ダブルロック工法」を採用している。
ダブルロック工法は、建物のレベル修正と地盤の土地改良を同時に行い再沈下を防ぐ工法。従来の鋼管杭圧入工法に比べて、費用・工事期間はどちらも約半分。無公害の環境に配慮した材料を使い、さらに土壌改良から行うので将来的にも安全性が高い。



耐圧版工法に加え、表層5mまでの間で軟弱な層にセメント系の薬剤を圧入することにより地盤補強を行う。沈下原因となる層を改良するため、再沈下の可能性が非常に低くなる。

■ダブルロック工法　施工手順



①**現地調査**（基礎の状態確認・測量）
②**地盤補強**（地盤補強剤を－3m付近に注入し地盤を安定させる）
③**沈下修正**（地盤補強剤の再注入で沈下修正を行う）
④**端部補強**（端部などへ補強剤を注入し平均化を図る）